

# 戸塚区連合町内会自治会連絡会11月定例会 議 題 説 明 書

戸塚区福祉保健課

<b>議題名：</b> 戸塚区民生委員児童委員協議会広報誌 「のぼそう愛の手第39号」の発行について
<b>【内容】</b> 戸塚区民生委員児童委員協議会広報誌「のぼそう愛の手第39号」を発行しましたので、お知らせします。班回覧による周知をお願いいたします。
<b>【例年あげている議題か？】</b> 前は令和6年3月区連会でお知らせしました。
<b>【会議に参加している地区連長が、各地区の単会会長に何を伝えればいいのか？】</b> <b>【各単会の会長に何を依頼したいのか？】</b> (具体的に記入してください。) 各自治会町内会に届きましたら、班回覧をお願いいたします。
<b>【その他、注意することなど】</b>

問合せ先 戸塚区福祉保健課

担当部署 運営企画係

担当者名 府川・天利・小川・近藤

TEL 045-866-8418 FAX 045-866-3936

令和6年11月18日

自治会町内会長 各位

戸塚区民生委員児童委員協議会  
会長 川邊 正子

「のぼそう愛の手39号」の回覧について（依頼）

時下 ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃から、私ども民生委員・児童委員の活動に御協力をいただきありがとうございます。

さて、戸塚区民生委員児童委員協議会では、民生委員の役割や活動を広く、地域の皆さまに知っていただくことを目的として、「のぼそう愛の手39号」を作成しました。

つきましては、誠に恐縮ですが、回覧にて御覧いただきますようよろしくお願い申し上げます。

担当：戸塚区民生委員児童委員協議会事務局  
(福祉保健課運営企画係) 府川、天利、小川、近藤

電話 045-866-8418

FAX 045-865-3963

# 民生委員にインタビューしました

今回は、現在活躍中の民生委員に、実際の活動内容、困った場合にどのように対応しているか、活動していてよかったことなどをお聞きしました。

民生委員	Aさん・40代 歴 3年3ヶ月	Bさん・50代 歴 3年10ヶ月	Cさん・70代 歴 4年2ヶ月
1ヶ月の活動	定期訪問 35件 活動日数 5日	定期訪問 15件 活動日数 10日	定期訪問 10件 活動日数 10日
きっかけ	自治会町内会の役員の方からのお誘い	自治会町内会の役員の方からのお誘い	ウォーキングサークルを立上げ、活動していて、声をかけられました。
困った時・失敗しそうになった時	ケアプラの方に何でも聞いています。とても頼りにしています。	福祉関係の仕事についており、仕事の経験が役立っています。	毎月の民生委員の集まりで相談しています。とても役立ちます。
負担感	「つなぎ役」に徹することで、無理なく活動できています。自然体と少しのがんばりで活動できているので、負担感はそのほど感じていません。	忙しいですが、仕事と両立しながら、空き時間で活動できています。	仕事の空き時間で活動しているので、うまく両立できています。特に負担感はありません。
活動していて嬉しかったこと	心配なお年寄りを介護保険サービスにつなぐことができたとき。	茶話会よりも落ち着いて話ができると喜んで頂いています。	心配なお年寄りを介護保険サービスにつなぐことができたとき。
なってよかったこと	年配の方と関わることで、自分の世界が広がります。	仕事では関わることのない福祉全般のことに関わることができて勉強になります。	「訪問を楽しみにしている」という声を聴いてやりがいを感じます。

## 編集後記

6月の会長研修で組織のつなぎ役となろう!～待ち遠しくなる定例化をめざして～のテーマで講演がありました。「定例会」を開催するにあたり6W2Hで考えてみよう①いつ(When)②どこで(Where)③誰が(Who)④誰と(With)⑤何を(What)⑥なぜ、何のために(Why)⑦どのように(How)⑧どのくらい(How much)と具体的な事例を挙げての内容でした。グループワークでは各地区の民児協活動の情報交換もあり今後の活動内容の参考になりました。(安谷屋孝子)

【編集委員】曾根よしみ、門井富士夫、安谷屋孝子、渥美房子、井上千恵子、金子孝  
【発行責任者】川邊正子【事務局】戸塚区福祉保健課 ☎866-8418



# のばそう愛の手

戸塚区民生委員児童委員協議会



第39号  
R6.10.21発行

戸塚区では、現在 293 人の民生委員・児童委員と、35人の主任児童委員、合計 328 人が担当する地域の中で地域福祉増進のため活動しています。今回は、民生委員・児童委員がどのように活動しているのかをご紹介します。

## 民生委員ってどんな活動しているの?!



### 見守り

担当区域にお住まいの方の見守りや、子どもたちへの声かけなどを行っています

### 相談・情報提供



お困りごとの相談にのり、利用できるサービスの情報を提供します

### 交流の場作り

食事会やサロンなどの交流活動の運営・サポートに携わっています



## 民生委員の1ヶ月の活動紹介



※民生委員(児童委員)の活動状況(令和5年度戸塚区分)より

1ヶ月あたりの活動頻度を紹介します。このほかに、月に1回、地区の民生委員さんが集まる会議(地区民児協定例会)に出席していただいています。地区民児協定例会では、活動に必要な情報交換などを行っています。

見守り	相談・情報提供	交流の場作り	活動日数
定期訪問の件数	相談・支援件数	地域福祉活動・自主活動の件数	
月平均 <b>26.7</b> 件	月平均 <b>2.7</b> 件	月平均 <b>2.3</b> 回	月平均 <b>11.2</b> 日

4ページには、民生委員のインタビューを載せています。ぜひご覧ください。

## 吉田矢部地区民生委員児童委員協議会の活動紹介

# 安心した自分らしい暮らしの実現を目指して

### 吉田矢部地区民生委員児童委員協議会 会長 山本 和男

吉田矢部地区は、民生委員児童委員 13 名と主任児童委員 2 名の 15 名で活動しています。毎月の定例会では、ケアプラザの職員から様々な情報を頂き、委員同士では事例等について話し合い民生委員の役割を確認します。また毎月の見守り対象者の方々に、「お元気ですか」等を配布しながらお話を聞き、何か不明な点があった時には、区役所や上倉田地域ケアプラザの方々や委員と相談し、対応しています。

また、地域で開催している高齢者の健康講座や支援に関わる介護サービスについての講演会などに積極的に参加し、高齢者との繋がりやケアマネジャーを通じ顔の見える関係づくりの大切さを学んでいます。健康講座では「地域のシャワーを浴びて認知症を予防しましょう」と言うお話がありました。今後も、担当地区の「身近な相談相手」として「地域のシャワーのような見守り」と認知して頂けるよう、他分野との連携を深め高齢者の方が地域で安心して自分らしい暮らしの実現に向け微力ではありますが一翼を担って行きたいと思えます。



民生委員・主任児童委員



健康講座

## 上倉田地区民生委員児童委員協議会の活動紹介

# 地域の方々に支えられ 助け合いながら

### 上倉田地区民生委員児童委員協議会 会長 上柳 幸子

「忘れても心は生きている～認知症の妻を介護する家族の話」  
(三橋良博先生)

認知症というと私たちは「もの忘れ」「徘徊性癖」「昼夜逆転の生活」等を連想しがちですが、三橋先生によれば妻が52歳時に若年性アルツハイマー型認知症との診断を受けることになったそうです。認知症は発見が早いほど進行を遅らせることができるそうです。介護する家族の献身的なサポートに加え、地域の方々の温かい見守りにより乗り越えられたと夫婦の絆には感動いたしました。三橋先生のお話では、認知症は何も分からなくなってしまう病気ではなく、人として生きて私たち周りの人々にも喜びや愛情を振りまいてくれるとのことに深く感銘を受けました。知らなかった認知症のことを再認識させていただきました。

「町内夏祭り」「連合祭り」の復活、さらに「サロン上倉田」活動もささやかながら楽しいイベントと手作りの昼食を提供させていただき、地域の高齢者の方々を中心に参加していただいております。地域の方々に支えられながら活動を続けています。



認知症についての講演会



認知症講演会の様子

## 下倉田地区民生委員児童委員協議会の活動紹介

# 「思いやり 助け合うまち 下倉田」を目指して

### 下倉田地区民生委員児童委員協議会 会長 宮下 充

下倉田地区は、民生委員児童委員 15 名(欠員 1 名)、主任児童委員 2 名の合計 17 名で、9自治会・町内会で活動しています。毎月第一水曜日に定例会を開催し、情報の共有を図り、意見交換を行いながら活動を進めています。

600 人程の見守り対象者の皆さんには毎月「お元気ですか」等を配布しながら、安否確認活動にもつなげています。「お元気ですか」は本年6月で第224号の発行を迎えました。ミニデー昼食会は、ボランティアの皆さんにもご協力を戴きながら、毎月第三木曜日・第四水曜日・金曜日と地域分けを行い毎月 100 名程の皆さんと美味しい食事を楽しみ、ゲーム、歌などを取り入れ、楽しい一時を過ごしています。

昨年実施の「下倉田ケアプラザ☆フェス」及び「下倉田連合祭り」では、「わが町の民生委員紹介パネル」を作成、合わせて活動の報告を行いました。その他、毎月開催のサロンはなだて、ハートぼっぼ、子育て支援等各種活動を日々精力的に取り組んでいます。高齢化が進む中で、「思いやり 助け合うまち 下倉田」を目指し、委員メンバーの連携を図りながら無理のない範囲で取組を進めて参ります。



わが町の民生委員(紹介パネル)



ミニデー昼食会食事調理



下倉田地区マスコット(モミーちゃん)

## 戸塚区主任児童委員連絡会の活動紹介

# 主任児童委員について知ってもらうために

### 戸塚第二地区主任児童委員 鈴木 京子

主任児童委員連絡会(以下連絡会)は各地区主任児童委員が他の地区と情報を交換し、より良い活動について考える機会となっています。5月の連絡会では「主任児童委員について、担当地区の学校にどう認知してもらうか」をテーマに意見を交換しました。

かねてより、地区によって担当の学校との連携には大きく差があることがわかっていました。主任児童委員の認知度の低さが課題となっている地区もあり、認知度アップのため、主任児童委員の「紹介チラシ」の配布を現在検討しております。チラシの形態、掲載内容、周知方法については今回の連絡会にて活発に意見交換をしました。戸塚区主任児童委員としての「紹介チラシ」が完成すれば学校関係者や各ご家庭に活動を知っていただく機会になると期待しています。

今年度は、「とつとの芽」遊びの講座、生徒指導専任教諭との意見交換会、施設見学会、区PTA連絡協議会との交流会などが予定されています。



戸塚区主任児童委員連絡会



画用紙とわりばしで作成した「大きなかぶ」の遊び道具